

横浜市立市民病院^{エスコ}ESCO事業提案者を募集!

～ 4月5日より公募開始～

横浜市第12号事業として横浜市立市民病院にESCO事業(裏面*1参照)を導入します。

導入理由

平成16年度策定の「**横浜市公共建築物 ESCO 事業導入計画**」において、横浜市立市民病院は、ESCO事業の導入による省エネルギー効果が大きく、光熱水費、二酸化炭素の低減を図れることが見込まれています。

今回の事業は、多くの設備機器が老朽化による更新時期を迎えており、ESCO事業として機器を更新することで、最適な省エネルギー改修を低コストで実現できることが期待できます。

公募の条件

老朽化している設備機器を**ESCO事業(自己資金型)の仕組み**を活用し、最適な省エネルギー改修提案を事業者から公募する事業です。

提案にあたっては、全体での**省エネルギー率を6%以上**、**二酸化炭素排出の削減効果を5%以上**、及び**光熱水費削減額は年間5,000万円以上**を前提にしています。

市内企業の参加が必須で、**市内企業が参加グループの一員となることを条件**とする募集です。

最終審査において、原則として次点となった優秀提案者に対し、**公民協働事業応募促進報奨金**交付要綱により報奨金を交付します。

募集要項は、4月5日(月)からホームページに公開します。(ダウンロード可能)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/archi/esco/index.html> また4月5日～4月8日まで下記にて配布します。(時間 9:00～12:00、13:00～17:00)

配布場所

横浜市建築局公共建築部
保全推進課 省エネルギー推進担当
横浜市中区相生町3-56-1 JNビル6階
Tel 671-3996

公募スケジュール(予定)

- ・公募：H22.4.5～4.26(参加表明)
- ・事業者選定：H22.8
- ・本契約：H23.8
- ・工事完了：H24.3
- ・ESCOサービス開始：H24.4～

横浜市公共建築物 ESCO 事業導入計画概要

横浜市では、公共建築物のESCO事業を効率的に推進するために、既存施設の省エネルギー診断や事業実現性の検討などを行い、事業実施可能な施設へESCO事業を導入する計画を平成16年度に策定しました。

公募施設概要

横浜市立市民病院

- ・所在地：横浜市保土ヶ谷区岡沢町56番地
- ・敷地面積：20,389m²
- ・延床面積：45,194m²

事業対象施設(建物しゅん工年、建築構造)

- ・がん検診センター (S55) RC造 4F・B1F
- ・保育園 (S55) RC造 3F
- ・管理棟 (S57) S造 3F
- ・南病棟 (S61) SRC造 8F・B3F
- ・東病棟 (S63) SRC造 5F・B2F
- ・西病棟 (H3) SRC造 5F・B2F
- ・緩和ケア病棟 (H20) RC造 2F・B1F

提案審査

提案の審査は、外部委員による「横浜市 ESCO 事業提案審査委員会」において審査し、最優秀提案 1 件及び優秀提案を数件選定します。

施設外観



* 1 ESCO 事業(自己資金型)の仕組み

ESCO 事業とは、既存施設の設備改修において、省エネルギー化と維持管理費の低減を図るため、民間事業者が計画・工事・管理・資金調達等包括的なサービスを提供し、従前の環境を低下させることなく省エネルギー化を行い、その結果得られる効果を保証する事業です。

自己資金型の事業では、省エネルギー改修に係る初期投資を発注者が行います。一方、ESCO 事業者は省エネルギー効果を保証し、光熱水費の削減を実現します。発注者は、その削減保証とその実現に対する報酬を ESCO サービス料として事業者に支払います。

ESCO = Energy Service Company の略称です。

